

P l a n（計画・目標）								D o（実行・実績）					C h e c k（評価・分析）				A c t（改善・維持・向上）		
節		施策の基本方向	KPI（評価指標）	担当課	数値根拠 （年度）	基準値	目標値	実績値					備考・特記事項 （対象年度）	達成率	評価	令和6年度達成状況		総括・今後の方向性（後期計画に向けて）	
								2年度	3年度	4年度	5年度	6年度				原因・要因	方向性	内 容	
第1節 くらし いきがい 協働	1-1 移住 ・定住	(1)地域が移住者を受け入れられる体制づくり (2)住む場所の確保として、空き家の利活用を促進 (3)地域に住み続けてもらう、戻ってきてもらうための取組み (4)阿南町を知ってもらうための取組み	移住希望者と地域をつなぐ団体数	総務課	町と懇談等を行った移住支援団体数	1団体	4団体	2団体	2団体	2団体	2団体	①和合元気な村づくり協議会 ②新野から元気にしまい会	50.0%	概ね順調	団体と町との方向性を共有していくことが大切と考えられる。	このまま継続	各団体の活動が地域に定着してきていると考えられるため、今後も団体と町との方向性の共有を図っていく。		
			空き家利用促進事業補助金の活用数（年間）	総務課	補助金件数	2件	2件	6件	9件	5件	8件	10件	・(R2)解体 6件 (R3)改修 3件、解体 6件 (R4)改修 4件、解体 1件 (R5)改修 5件、解体3件 (R6)改修 1件、解体 9件 ・R2.9月から空き家解体の一部助成を開始	500.0%	順調	空き家の利活用が図られた。	内容を改めて継続（向上・改善）	空き家対策推進計画の策定や協議会の設置を行い、新たな空き家利活用の方法の検討も含めて、更なる空き家の利活用の促進を図る。	
			空き家を活用したお試し住宅数	総務課	お試し住宅設置数	0軒	1軒	0軒	0軒	0軒	0軒	0軒	(R2)和合の空いていた教員住宅で試験的に実施 (R3)和合会館を簡易宿泊所として使用開始	未達成	概ね順調	お試し住宅の設置には至らなかったが、和合地区の移住支援団体との懇談を行うなど、設置に向けた検討を行うことができた。	このまま継続	引き続き、和合地区をモデルに、移住支援団体と連携し、空き家を活用したお試し住宅の運用体制や設置を検討していく。	
			住宅新築補助金の活用件数	建設環境課	補助申請実績	7件	5件	4件	5件	1件	2件	4件	(R2)富草2件、大下条1件、新野1件 (R3)富草2件、大下条2件、新野1件 (R4)富草1件 (R5)富草1件、大下条1件 (R6)富草1件、大下条3件	未達成	概ね順調	物価高騰に伴う住宅建築費用の増加もあり、目標値には満たなかったが、計画期間中では年間平均で3件の補助金活用があった。	このまま継続	年度末時点で事前協議済2件、検討中1件と今後も申請の見込みがあり、今後も継続して周知活動を行っていく。	
			町営住宅の入居率	建設環境課	－	97.0%	97.0%	97.0%	98.0%	96.3%	96.0%	96.0%	(R2)208件/215件 (R3)211件/216件 (R4)207件/215件 (R5)202件/211件 (R6)202件/211件	99.0%	概ね順調	年度末の教員等の異動により入居率96％となっていたが、年度末の異動を除くと入居率98％となっており概ね達成となっている。	このまま継続	令和7年度から一部住宅の住宅料減額や大規模改修も始まるため、継続して改善に取り組んでいく。	
			結婚活動イベントの参加者数	総務課	町が実施したイベントの参加者数	67人	100人	0人	0人	19人	14人	14人	(R4) 7/15開催 3名 9/11開催 16名 (R5) 8/19開催 6名 9/23開催 8名 (R6)11/17開催 14名	14.0%	概ね順調	南部町村合同婚活イベントを実施した。町内の参加者の応募がないのが課題。	内容を改めて継続（向上・改善）	町内の応募者が少ないのが課題であるため、今後の事業継続の可否について南部町村で検討を行いたい。	
			移住セミナーの参加者数	総務課	町や広域で実施したセミナーの参加者数	150人	150人	94人	103人	65人	60人	40人		26.7%	概ね順調	県やＪＡ、南信州の市町村で連携して移住セミナーや関係人口の創出の取り組みを行うことができたが、移住者の確保に繋げることはできなかった。	このまま継続	今後も、県やＪＡ、南信州の市町村と連携するなかで、移住セミナーなどの実施を継続していく。	
			人口の社会動態増減数	総務課	－	-16人	0人	1人	7人	-22人	1人	6人	(R2)転入 138人、転出 137人 (R3)転入 132人、転出 125人 (R4)転入 142人、転出 164人 (R5)転入 157人、転出 156人 (R6)転入 146人、転出 140人	137.5%	順調	人口ビジョンの目標は達成された。	このまま継続	計画している各施策を着実に進めることで、社会動態の増加を図る。	
	1-2 コミュニ ティ とまち づくり	(1)コミュニティ活動を継続させる取組み (2)コミュニティと行政のあり方見直し (3)住民主体のまちづくり、ボランティア活動推進	地域のコミュニティ数	総務課	－	53地区	53地区	53地区	53地区	53地区	53地区	R3から個人宛文書郵送化	100.0%	概ね順調	人口や世帯数の減少により、コミュニティの維持が難しくなっている。	このまま継続	区ごとに選出していた委員等についての人員削減等も含めて区の負担とならないように引き続き検討していく。		
			ボランティア大会の開催数・参加者数	民生課	－	1回	2回	0回	0回	0回	0回	0回	R2.6 阿南町ボランティアセンター設立	0.0%	要改善	コロナ禍を経て、コミュニティの場が減少し、人口も減少し高齢化が益々進んだため、一部のシニアクラブによる美化活動が復活しているが、ボランティア活動は途切れたままになっており、今後もボランティア大会の開催は難しい。	内容を改めて継続（向上・改善）	R7に社協と合同で地域福祉に関する住民アンケートを実施。住民のボランティアについての考えを知る機会とし、社協と協力して今後の方向性を考えていきたい。	
地域おこし協力隊の隊員数			総務課	累計	0人	5人	1人	2人	2人	1人	2人	①R2.7～R2.10（情報発信） ②R3.5～（農業振興）	40.0%	概ね順調	目標値には届かなかったが、合計で2名の地域おこし協力隊の受け入れを行うことができた。	内容を改めて継続（向上・改善）	令和7年度に1名の協力隊を新たに受け入れることができた。 今後も受け入れの必要性や募集する業務内容を検討していきたい。		

P l a n（計画・目標）								D o（実行・実績）						C h e c k（評価・分析）				A c t（改善・維持・向上）	
節		施策の基本方向	KPI（評価指標）	担当課	数値根拠 （年度）	基準値	目標値	実績値					備考・特記事項 （対象年度）	令和6年度達成状況		総括・今後の方向性（後期計画に向けて）			
								2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		達成率	評価	原因・要因	方向性	内 容	
第1節 くらし いきがい 協働	1-3 情報 発信	(1)地域の実情や時代に合わせた積極的な住民向けの情報発信	ホームページの町内在住者の閲覧者数	総務課	—	1,520人	2,000人	1,803人	1,693人	1,861人	2,271人	2,313人	R4ホームページのリニューアル実施	115.7%	概ね順調	目標値より約15%多くホームページを閲覧していただけたので町内向け周知としては有効な情報手段になっている。	このまま継続	町内の情報周知の手段のひとつになるので、随時更新し最新の情報を公開する。	
		(2)放送設備の維持と映像記録の保存	ホームページの町外在住者の閲覧数	総務課	—	127,670人	135,000人	96,317人	106,313人	116,854人	119,697人	104,889人	R4ホームページのリニューアル実施	77.7%	要改善	ホームページのお知らせ記事や町外者向けページの見直しが必要。	このまま継続	観光や移住関係などの記事を重点的に記事の再確認を行う。	
		(3)阿南町を知ってもらうための町外向け情報発信	Twitterフォロワー数	総務課	—	334件	1,000件	768件	970件	1220件	1386件	1600件	商工観光の情報発信が主なもの	160.0%	順調	観光関係を中心に情報発信	このまま継続	ひまわりや桜等は年によって状況が異なるので随時情報を発信するなど、積極的な発信を継続していく。	
			Youtubeチャンネル登録者数	総務課	—	24件	100件	56件	87件	101件	302件	340件	議会のチャンネルが主なもの	340.0%	順調	議会を中心に情報発信	このまま継続	今後も事業を継続していく。	
			CATV自主放送の番組数	総務課	—	57	60	78	54	48	60	53	1番組／1週を基本とし、随時放送	88.3%	概ね順調	概ね計画通りの制作、放送することができた。	このまま継続	今後も事業を継続していく。	
	1-4 公共 交通	(1)地域ごとの住民ニーズの把握	町民バスの利用者数	総務課	町民バス有料乗車数	3,118人	2,500人	2,082人	1,617人	1,685人	1,423人	1,208人	R3.7～町民バス3台運行から2台運行に減便と路線の見直しを実施	未達成	順調	利用者数は減少傾向にあるが、路線見直し等により、適正な路線が確保されている。	内容を改めて継続（向上・改善）	引き続き、町民バスの利用実績などを分析し、運行路線の見直しや適正な運行に努める。	
		(2)町民バスの維持及び改善、公共交通の充実	タクシー券の利用者数	総務課	—	898人	1,000人	1,043人	1,499人	1,841人	2,103人	2,420人	R3.4～タクシー券補助率を5割から8割に嵩上げ	242.0%	順調	タクシー券の利用者は、増加傾向にある。	このまま継続	今後も事業を継続していく。	
		(3)公共交通充実のために広域的交通機関と連携	新たな交通システムの構築	総務課	—	未実施	実施	未実施	実施	実施	実施	実施	R3 公共交通の見直しを実施	達成	順調	近隣市町村や交通事業者と連携し、広域的な公共交通システムの在り方の検討を進めている。	このまま継続	引き続き、近隣市町村や交通事業者と連携し、広域的な公共交通システムの在り方の検討を進める。	
	1-5 リニア ・広域 連携	(1)まちの個性を持った施策展開	リニア開通に向けた広域ビジョンの策定	総務課	—	未実施	実施	未実施	実施	実施	実施	実施	R4.2月 南信州リニア未来ビジョン（議論のための）が公表	達成	順調	南信州リニア未来ビジョン（議論のための）が策定された。	このまま継続	今後も、南信州広域連合が中心となり、広域連携を進めていく。	
		(2)南信州の広域的範囲における取組	共同研究講座学位取得者における南信州地域内就職者数	総務課	飯田市 評価実績	0人	1人	0人	0人	1人	1人	1人	H29.4～信州大学航空機システム共同研究講座開講（R4）1名	達成	順調	目標は達成している。	このまま継続	信州大学新学部誘致に向けて南信州全体で取り組む。	
														100.0%					
	1-6 行財政 運営	(1)健全な財政運営の推進	健全化判断比率（実質公債比率）	総務課	決算統計数値 （単年度）	2.3%	25%以下 （前年度22.7%）	3.7%	3.6%	3.2%	5.3%	2.3%		達成	順調	目標は達成している。	このまま継続	引き続き、安定的な財政運営に努める。	
		(2)持続可能な行政運営の推進	健全化判断比率（将来負担率）	総務課	決算統計数値	-	0%以下	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		達成	順調	目標は達成している。	このまま継続	引き続き、安定的な財政運営に努める。	
		(3)適格な課税客体の把握と適正な課税、効率的で公平な徴収の実現	町税の収納率	住民税務課	—	95.6%	97.0%	98.6%	98.9%	97.0%	97.2%	98.5%	固定資産税・軽自動車税・町民住民税・法人住民税・国民健康保険税・入湯税・たばこ税	101.5%	概ね順調	差押えの実施、事業者の協力もあり、滞納額の縮減が図れた。また、周知の徹底を図り、納税意識が変わってきた。	このまま継続	未納者の実態把握及び納税方法の検討を行い、未納を増やさない、新たな未納を発生させないよう徹底を図る。	
			町税以外の収納率	住民税務課	—	97.6%	98.0%	99.3%	99.3%	98.6%	98.5%	98.3%	水道料金・下水道料金・後期高齢・CATV・後期高齢者医療保険・介護保険	100.3%	概ね順調	納付の対応、臨戸訪問により納付意識が変わりつつある。	このまま継続	未納者の実態把握及び納税方法の検討を行い、未納を増やさない、新たな未納を発生させないよう徹底を図る。	
	第2節 教育 文化 地域愛	2-1 子育て 支援・ 保育園	(1)子育て支援の充実	保護者が「子育てについて不安を感じている」割合	教育委員会	—	90.0%	45.0%	—	—	—	—	R2策定、今回の策定のR7年度までに数値削減を目指す。	#VALUE!	—	R7の子ども子育て支援事業計画策定の折に、アンケート調査を行い評価を行う。	このまま継続	定期的な学校との連絡の機会を利用し、家庭からの要望に応じていく。	
			(2)学童クラブの充実	「①子育てで教育に係る経済的負担が大きい」割合	教育委員会	—	37.0%	18.5%	—	—	—	—	R2～中学生の保護者向けとして、「卒業祝金」（町内商品券）を50,000円/人配布開始。	#VALUE!	—	R7の子ども子育て支援事業計画策定の折に、アンケート調査を行い評価を行う。	このまま継続	卒業祝い金の継続	
			(3)要保護児童などへの支援体制の充実	「②仕事と子育ての両立が難しい」割合	教育委員会	—	42.0%	21.0%	—	—	—	—	天下学童クラブの整備を実施	#VALUE!	—	R7の子ども子育て支援事業計画策定の折に、アンケート調査を行い評価を行う。	このまま継続	専任の支援員の育成により、学童クラブの受け入れ態勢の充実を図る。	
			(4)地域で支える子育て支援	「③子どもの育て方、接し方がわからない」割合	教育委員会	—	13.0%	6.5%	—	—	—	—	ケース会議の実施	#VALUE!	—	R7の子ども子育て支援事業計画策定の折に、アンケート調査を行い評価を行う。	このまま継続	ケース会議等、保護者・学校との連絡の機会を増やしていく。	
				「④家族の理解や協力が得られない」割合	教育委員会	—	9.0%	4.5%	—	—	—	—	同上	#VALUE!	—	R7の子ども子育て支援事業計画策定の折に、アンケート調査を行い評価を行う。	このまま継続	ケース会議等、保護者・学校との連絡の機会を増やしていく。	
			「⑤子どもの健康や発達に不安がある」割合	教育委員会	—	28.0%	14.0%	—	—	—	—	—	教育委員会への直接相談実績なし。	#VALUE!	—	R7の子ども子育て支援事業計画策定の折に、アンケート調査を行い評価を行う。	このまま継続	学校養護教諭部会への役場保健師の参加を継続し、情報共有の機会を増やしていく。	

P l a n（計画・目標）								D o（実行・実績）					C h e c k（評価・分析）				A c t（改善・維持・向上）	
節		施策の基本方向	KPI（評価指標）	担当課	数値根拠 （年度）	基準値	目標値	実績値				備考・特記事項 （対象年度）	令和6年度達成状況			総括・今後の方向性（後期計画に向けて）		
								2年度	3年度	4年度	5年度		6年度	達成率	評価	原因・要因	方向性	内 容
第2節 教育 文化 地域愛	2-1 子育て 支援・ 保育園		「⑥子どもの教育について不安がある」割合	教育委員会	—	27.0%	13.5%	—	—	—	—	同上	#VALUE!	—	R7の子ども子育て支援事業計画策定の折に、アンケート調査を行い評価を行う。	このまま継続	子育て支援拠点を新たに設置し積極的な展開を図る。	
			「⑦教育・保育事業が利用しにくい」割合	教育委員会	—	4.0%	2.0%	—	—	—	—	保育の利用について、保育園を通じてや、教育委員会への直接の相談実績あり。	#VALUE!	—	R7の子ども子育て支援事業計画策定の折に、アンケート調査を行い評価を行う。	このまま継続	保育事業を継続し、利用しやすい体制を構築する。	
			「⑧不安や悩みを相談する相手や場所が近くでない」割合	教育委員会	—	6.0%	3.0%	—	—	—	—	教育委員会への直接相談実績なし。	#VALUE!	—	R7の子ども子育て支援事業計画策定の折に、アンケート調査を行い評価を行う。	このまま継続	子育て支援拠点を新たに設置し積極的な展開を図る。	
			「⑨小さな子どもにとって安全な遊び場所が近くでない」割合	教育委員会	—	43.0%	21.5%	—	—	—	—	同上	#VALUE!	—	R7の子ども子育て支援事業計画策定の折に、アンケート調査を行い評価を行う。	このまま継続	各地区ごとに適地を検討していく必要がある。	
			「⑩自分のための時間やリフレッシュ時間がとれない」割合	教育委員会	—	40.0%	20.0%	—	—	—	—	同上	#VALUE!	—	R7の子ども子育て支援事業計画策定の折に、アンケート調査を行い評価を行う。	このまま継続	専門職員の配置の計画に併せ、子育て世代の親が相談できる機会やスペースの確保を検討する。	
			「⑪子どもの友達付き合いが心配」割合	教育委員会	—	27.0%	13.5%	—	—	—	—	同上	#VALUE!	—	R7の子ども子育て支援事業計画策定の折に、アンケート調査を行い評価を行う。	このまま継続	子どもの様子をみながら必要な支援策を検討する。	
	2-2 学校 教育	(1)教育環境のあり方の検討 (2)教育の充実 (3)教育環境の整備 (4)保護者・地域・学校間の交流・連携	中学校の教育環境のあり方の検討・整備	教育委員会	—	未実施	実施	未実施	未実施	実施	実施	実施	コロナの状況により、意見交換会の開催を見送った。	達成	概ね順調	中学校統合に向け、準備委員会を立ち上げた。	このまま継続	令和9年からの統合に向けて取り組んでいく。
			英語教育のためのA L T数	教育委員会	雇用実績	2人	3人	2人	2人	2人	2人	2人		66.7%	概ね順調	中学校が統合されれば、その分各学校へ向う機会も多くなるため、A L Tの増員は保留としている。	このまま継続	中学校が統合されれば、その分各学校へ向う機会も多くなるため、A L Tの増員は保留としている。
			I C Tを活用した小中学校の他校交流回数	教育委員会	各学校へ聞取調査	2回	6回	14回	21回	26回	18回	6回		100.0%	順調	海外との交流を始め、田原市や他校との交流に積極的に利用することができた。	このまま継続	引き続き、積極的な活用を継続し、他校との交流を行っていく。
			小学校学力・学習状況調査結果(国の平均正答率以上の項目率)	教育委員会	—	77.27%	80.0%	—	35.50%	36.17%	10.53%	53.33%		66.6%	概ね順調	30項目中16項目 一人当たりの平均正答率は全国平均の99.16%	このまま継続	引き続き、学力の向上に努める。
			中学校学力・学習状況調査結果(国の平均正答率以上の項目率)	教育委員会	—	41.94%	50.0%	—	50.00%	67.34%	46.43%	26.67%		53.3%	要改善	30項目中8項目 一人当たりの平均正答率は全国平均の90.42%	このまま継続	引き続き、学力の向上に努める。
			小学校体力・運動能力・運動習慣等調査結果(国の平均以上の種目率)	教育委員会	—	88.89%	90.0%	—	75.00%	58.53%		62.50%		69.4%	順調	5学年男子 8種目中5種目 5学年女子 8種目中5種目 体力合計点は全国平均以上である	このまま継続	引き続き、体力の向上に努める。
			中学校体力・運動能力・運動習慣等調査結果(国の平均以上の種目率)	教育委員会	—	11.10%	20.0%	—	35.40%	30.43%	45.83%	43.75%	同上	218.8%	順調	中学2年男子 8種目中0種目 中学2年女子 8種目中7種目 部活動及びクラブ活動実施により向上している	このまま継続	引き続き、体力の向上に努める。
	2-3 阿南高 校の発 展	(1)地域性を活かした取り組みをおこないます (2)阿南高校へ通う学生を支援します (3)阿南高校の魅力の情報発信を行います	阿南高校生生徒数	教育委員会	聞取調査	230人	200人	196人	161人	161人	160人	129人	R4.5 南宮学習塾開講	未達成	要改善	飯田下伊那管内の中学校生徒数が減少しているため、基準値及び目標値を達成することは困難である。	内容を改めて継続（向上・改善）	少子高齢化により、人口が減少しているのは全国的な状況であるため、特色ある学校づくりを目指す取り組みを進めていく。
														43.9%				
			町内中学校卒業生の阿南高校入学率	教育委員会	聞取調査	20.0%	50.0%	30.6%	14.7%	7.7%	11.8%	19.2%	(R3)一中5名、二中0名 (R4)一中1名、二中1名 (R5)一中4名、二中0名 (R6)一中5名、二中0名	38.4%	要改善	町内中学校卒業生の阿南高校入学率の向上を図ることはできなかった。	このまま継続	少子高齢化により、人口が減少しているのは全国的な状況であるため、特色ある学校づくりを目指す取り組みを進めていく。
			卒業就職者の阿南町就職率	教育委員会	聞取調査	6.0%	15.0%	14.7%	10.3%	4.0%	5.0%	34.9%	(R2)5名/34名 (R4)1名/25名 (R5)1名 (R6)15名/43名	232.7%	順調	卒業生43名に対して15名が町内で就職した。（43.9%）	内容を改めて継続（向上・改善）	町内の就業率向上が基本となるが、事業所数が限られているなかでは飯田下伊那地域での就業率向上も検討していく。
卒業生の進学率			教育委員会	聞取調査	50.5%	60.0%	46.9%	53.2%	50.0%	50.0%	65.1%	(R2)30名/64名 (R4)25名/50名 (R5)約50% (R6)28名/43名、65.1% ・R3 愛知東邦大学、修文大学 連携協定	108.5%	順調	生徒が「南宮学習塾」を利用していることにより、進学率が向上していると推測される。	このまま継続	南宮学習塾の取り組みの継続と連携協定の周知を継続する。	

P l a n（計画・目標）								D o（実行・実績）					C h e c k（評価・分析）			A c t（改善・維持・向上）		
節		施策の基本方向	KPI（評価指標）	担当課	数値根拠 （年度）	基準値	目標値	実績値				備考・特記事項 （対象年度）	令和6年度達成状況			総括・今後の方向性（後期計画に向けて）		
								2年度	3年度	4年度	5年度		6年度	達成率	評価	原因・要因	方向性	内 容
第2節 教育 文化 地域愛	2-4 社会 教育	(1)生涯学習の推進 (2)人権尊重教育の推進 (3)青少年健全育成の推進	土曜日の通学バス運行	総務課	—	未実施	実施	実施	実施	実施	R2.6～開始 (R2)富草～阿南高校 11名 新野～阿南高校 47名 (R3)新野～阿南高校 17名 (R4)新野～阿南高校 6名	達成	順調	生徒数の減少により利用者がいなかった。 各年により、運行のニーズは異なる。	このまま継続	引き続き、ニーズがあれば実施を行っていく。		
			生涯学習への参加者数	教育委員会	—	2,410人	2,500人	300人	300人	650人	924人	1,106人	趣味の展示会・町民ゴルフコンペ・阿南町スポーツ交流会・県境域スポーツ交流会・A N A Nフォトコンテスト・蒔細工・水引ワークショップ・S U P体験会・A N A N映画観賞会・深見の釣り大会・成人式・各地区公民館事業 R6年度公民館年間事業実績報告書 （体協大会 除く）	44.2%	概ね順調	高齢化や人口減少により、参加者数の目標値には達することができなかったが、様々な事業を行うことで、多くの方の参加をいただいた。	内容を改めて継続 （向上・改善）	多くの参加者に繋がる講座やイベントの開催を継続していく。
			図書館の利用者数	教育委員会	—	7,213人	7,500人	7,737人	5,384人	5,816人	6,214人	5,950人	(R3) 本館利用者 3,949人 図書館車利用者 1,435人 (R4) 本館利用者 4,286人 図書館車利用者 1,530人 (R5) 本館利用者 4,347人 図書館車利用者 1,867人 (R6) 本館利用者 4,133人 図書館車利用者 1,817人	79.3%	概ね順調	人口減少とともに図書館利用者数も減少しているが、移動図書館や各種講座等を充実させることにより、貸出冊数は年々増加している。	このまま継続	利用しやすい図書館となるよう、引き続き、移動図書館車の充実や講座開催等を継続していく。
			人権学習の回数	教育委員会	—	1回	2回	0回	0回	4回	4回	2回	公民館報での特集記事	100.0%	概ね順調	人権映画の観賞会や講演会を開催し人権学習の機会を確保できた。	内容を改めて継続 （向上・改善）	映画観賞会や講演会を継続していく。
			ノーテレビ・ノーゲームデーの回数	教育委員会	—	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回		100.0%	順調	定期的に行われる取り組みとして、定着化しつつある。	このまま継続	引き続き、継続していく。
			2-5 スポーツ	(1)スポーツ環境の整備と利用促進 (2)スポーツ活動の充実	みんなで行ろう駅伝大会の参加者数	教育委員会	—	347人	400人	0人	0人	182人	287人	213人	(R2)未実施 (R3)未実施 (R4)感染拡大防止のため、出場チーム数の制限、周回コースに変更して実施 (R5～)通常開催	53.3%	要改善	高齢化や人口減少により、参加者数の目標値には達することができなかったが、大会の開催を行うことはできた。
	体協の加入者数	教育委員会			—	428人	450人	204人	277人	267人	418人	372人		82.7%	概ね順調	人口減少とともに加入者数も減少傾向にある。	内容を改めて継続 （向上・改善）	人口減少とともに加入者数も減少傾向にあるが、引き続き、加入者の確保に努める。
	B & Gの利用者数	教育委員会			—	4,956人	5,000人	2,602人	3,378人	2,104人	3,752人	4,251人		85.0%	概ね順調	高齢化や人口減少により、利用者数の目標値には達することができなかったが、学校利用の本格化やイベント等の開催により増加傾向にある。	このまま継続	引き続き、水に親しむイベント等の開催により、利用者数の増加を図る。
	2-6 文化	(1)阿南町博物館の建設 (2)伝統芸能の保存・伝承 (3)文化財の保護と活用			阿南町博物館	教育委員会	—	検討段階 （未設置）	完成	未設置	未設置	未設置	未設置		未達成	要改善	建設には至らなかったものの、化石展示館を開館する過程で、化石収蔵品の整理（データ化）、町民会館倉庫の一部整理を行った。	このまま継続
			文化財巡りツアーの参加者	教育委員会	—	0人	100人	0人	0人	300人	200人	20人	(R4)ユネスコ無形文化遺産登録 民俗芸能フェスティバルの開催	20.0%	要改善	目標値には達することができなかったが、ツアーは開催した。	このまま継続	内容の見直しを行う中で、引き続き、事業を継続していく。
農村文化伝承センターの利用者数			教育委員会	—	2,365人	2,500人	816人	455人	605人	1,334人	838人		33.5%	要改善	主な利用者は地域住民で、有料の入館者（町外）が伸び悩んでいる。 道の駅に地図付きのパンフレットや案内板も設置したが、大幅な改善に繋がらなかった。	内容を改めて継続 （向上・改善）	近隣施設の道の駅には、多くの来場者があるため、道の駅からの来館に繋がるように検討していく。	
県・国の指定になっている伝統芸能の数 （継続中の数）			教育委員会	—	6	6	6	6	6	6	6	(R4) ユネスコ無形文化遺産登録 民俗芸能フェスティバルの開催	100.0%	概ね順調	継続できてはいるものの、保存会員の高齢化が進んでいる状況。	このまま継続	今後も適切に保存できるよう、保存団体と継続して取り組む。	

P l a n（計画・目標）								D o（実行・実績）					C h e c k（評価・分析）				A c t（改善・維持・向上）		
節		施策の基本方向	KPI（評価指標）	担当課	数値根拠 (年度)	基準値	目標値	実績値				備考・特記事項 (対象年度)	令和6年度達成状況			総括・今後の方向性（後期計画に向けて）			
								2年度	3年度	4年度	5年度		6年度	達成率	評価	原因・要因	方向性	内 容	
第3節 医療 福祉 健康	3-1 医療	(1)1地区1医療機関の維持・拡充 (2)18歳までの医療費助成の継続 (3)町内医療機関と町外医療機関の連携促進 (4)災害に備えた医療救護体制づくり	診療所常駐医師数	民生課	—	2人	2人	2人	2人	2人	①新野診療所 ②富草・和合診療所	100.0%	概ね順調	今のところ、診療所の常駐医師数は確保できているが、2名の医師は60代で、10年以内の離職も考えていかなければならない。	内容を改めて継続 (向上・改善)	引き続き南部5町村、長野県、医療機関等と地域医療の継続たのため、必要な連携が取れるよう検討を進め、できることから着手していく。			
			医療機関数	民生課	—	6施設	6施設	6施設	6施設	5施設	5施設	5施設	①阿南病院、②富草診療所 ③和合診療所、④新野診療所 ⑤JA阿南歯科診療所、 ⑥伊東歯科医院(R5.3閉院)	83.3%	概ね順調	令和5年に新野地区の伊東歯科医院が閉院したが、南部公共バスやタクシー券助成事業等を利用しながら歯科受診の機会を得ている。	内容を改めて継続 (向上・改善)	地域医療連携推進法人に拘らず、柔軟に医療の継続に取組んでいく。 新野診療所の運営を民営化から公営に転換予定。スムーズに切り替えられるよう対応していく。	
			乳幼児医療費事業の維持	民生課	—	1事業	1事業	維持	維持	維持	維持	維持	・福祉医療費給付金制度により、出生から満18歳になる年の年度末までの医療費を助成。 ・R3～全ての診療科が現物給付	達成	順調	福祉医療費として給付を実施することができた。（コスト意識を持っていただくため、1レセプト当たり300円の利用者負担は当面継続する方針。）	このまま継続	引き続き、事業を継続していく。	
			診療所への非常用発電機の設置	民生課	—	2施設	3施設	3施設	3施設	3施設	3施設	3施設	新野診療所は既設 (R1)和合福祉村設置 (和合診療所含む) (R2)富草診療所設置	100.0%	概ね順調	全ての診療所に設置が完了した。	内容を改めて継続 (向上・改善)	新野診療所の非常用発電装置について、調査の結果、改善が必要であるため、予算化・計画作成に向けて、引き続き検討していく。	
							(維持)	3施設	3施設	3施設	3施設	3施設							
	3-2 地域 福祉	(1)助け合い、支え合う地域づくり (2)福祉のネットワーク構築 (3)安定した暮らしを守る体制づくり	見守り協力機関数	民生課	—	1団体	5団体	2団体	2団体	2団体	3団体	3団体	H29.5～ 阿南ショッピングセンター協同組合 H29.11～ 生活協同組合コープながの R6.3.13～ 第一生命保険株式会社	60.0%	概ね順調	関係機関と定期的に連携できおり、近隣住民による自主的な見守りが行われている。 阿南町社会福祉協議会と連携し、地域福祉に対する考えを問う住民アンケート実施について検討を行ったが、実施には至っていない。	このまま継続	現状を維持しつつ、新たな見守りの資源も模索する。	
高年齢者福祉	3-3	(1)自立した在宅生活の継続のための介護保険制度や介護予防・生活支援サービスの活用 (2)介護職員の人材育成・人材確保 (3)生きがいづくりの支援体制構築 (4)地域で支え合う生活支援体制づくり	中学生以下の子どもとの受入交流施設	民生課	—	4施設	4施設	4施設	4施設	4施設	4施設	1施設	①特別養護老人ホーム阿南荘 ②特別養護老人ホーム太陽の家 ③特別養護老人ホーム赤石寮 ④阿南町社会福祉協議会	25.0%	概ね順調	大下条小学校がサルビアの郷と阿南学園と交流会を開催。 令和6年度は1施設となったが、それ以外の年度は目標の4施設との交流を行うことができた。	このまま継続	感染症等の状況により、以前のような交流が難しい施設もあるが、人材確保に繋げるため継続して実施していく。	
			シニアクラブ加入割合及びクラブ数	民生課	75歳以上	63.5%	63.0%	64.7%	66.0%	60.5%	66.1%	65.5%	(R2)771人／1,192人 (R3)760人／1,152人 (R4)705／1,166人 (R5)776人／1,173人 (R6)763人／1,164人 ※65歳以上 (R2)771人／2,274人 33.9% (R3)760人／1,937人 39.2% (R4)705人／1,915人 36.8% (R5)776人／1,917人 40.4% (R6)763人／1,846人 41.3%	達成	順調	全てのクラブが活動し、加入割合を前年と同程度維持できた。	このまま継続	引き続き、加入割合が維持できるよう努める。	
			認知症サポーター数 (累計)	民生課	H26～累計	519人	1,000人	629人	641人	656人	698人	730人		73.0%	概ね順調	当年度受講者26人 累計730人が受講した。	このまま継続	引き続き、事業を継続していく。	
	3-4 障がい者福祉	(1)相談しやすい体制づくり (2)南部地区の中心的支援施設の確保 (3)障がい児者がいきいき暮らすための支援の充実 (4)障がい児者にやさしいまちづくり	障がい者支援施設（阿南学園新施設）の建設	総務課	—	未実施	実施	未実施	実施	実施	実施	実施	R3.11末完成	達成	順調	R3.11末 完成	削除	R3.11末に完成した。	
			日中活動の場	民生課	—	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	阿南町就労支援センター	達成	順調	サービスを必要とする者に必要量のサービスの提供が行われている。	このまま継続	地域・事業所と連携を図りながら漏れないサービスの提供を継続する。	
			小中学生との交流施設	民生課	—	2施設	2施設	2施設	2施設	2施設	2施設	2施設	①救護施設阿南富草寮 ②ひだまりの郷あなん阿南学園	100.0%	順調	学校の年間計画に地域交流として計画されており、施設へ訪問し、屋内及び屋外での交流会を実施。 6年度は阿南学園と大下条小学校、富草寮と富草小学校が焼き芋大会等を通じて交流会を行った。	このまま継続	引き続き、事業を継続していく。	

P l a n（計画・目標）								D o（実行・実績）					C h e c k（評価・分析）			A c t（改善・維持・向上）		
節		施策の基本方向	KPI（評価指標）	担当課	数値根拠 （年度）	基準値	目標値	実績値					備考・特記事項 （対象年度）	令和6年度達成状況			総括・今後の方向性（後期計画に向けて）	
								2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		達成率	評価	原因・要因	方向性	内 容
第3節 医療 福祉 健康	3-5 健康 プラン 上	(1)幼少時から健康に興味を持てる環境づくり (2)住民の健康意識の向上	睡眠時間8時間以上の小中学生の割合	教育委員会	—	45.1%	50.0%	—	—	16.7%	53.0%	53.0%	全国学調のアンケート調査	106.0%	概ね順調	目標値には達している。	内容を改めて継続 （向上・改善）	調査結果の活用方法を保健師や養護教諭にも加わっていただくなかで検討し、改善を図ってきたい。
		(3)生涯現役でいられる基盤づくり (4)誰もがうけやすい健康診査の提供	朝食を毎日食べる小中学生の割合	教育委員会	—	76.2%	80.0%	—	—	16.7%	96.9%	93.1%	全国学調のアンケート調査	116.4%	概ね順調	目標値には達している。	このまま継続	調査結果の活用方法を保健師や養護教諭にも加わっていただくなかで検討し、改善を図ってきたい。
			ふみ子ちゃんポイント達成者数	民生課	—	65人	100人	159人	156人	180人	188人	205人	ポイント制度の改正を実施	205.0%	概ね順調	目標値を上回る成果があったが、ふっと参加者以外が伸び悩んでおり、制度の見直しが必要。	内容を改めて継続 （向上・改善）	事業の見直しを行い、利用者拡大を図ってきたい。
			健康教室の開催数	民生課	—	42回	50回	7回	5回	10回	16回	20回	(R5)シニアクラブ健康講座7 楽しい健康のつどい3 シニア講座6 (R6)シニアクラブ健康講座9 楽しい健康のつどい3 シニア講座6 その他2	40.0%	概ね順調	シニアクラブ関係での開催が増加し、年間20回開催。	このまま継続	引き続き、事業を継続していく。
			特定健診受診率	民生課	—	59.1%	65.0%	59.8%	61.2%	61.1%	61.1%	62.4%	(R5) 374/587人 (R6) 351/561人	96.0%	概ね順調	集団・個別健診が減少しており、人間ドック・脳ドックの利用者が増加。	このまま継続	引き続き、受診率の向上に努める。
第4節 産業振興 雇用創出	4-1 観光	(1)観光スポットのネットワーク構築 (2)地域内消費の向上 (3)町の魅力の再発見とPR力の強化	観光のあり方検討会の実施	振興課	コラボ会議	0回	2回	12回	10回	10回	9回	6回	興亜エレクトロニクスと町で観光のあり方検討会（コラボ会議）実施	達成	概ね順調	コラボ会議から提案のあった大型モニターをかじかの湯食堂に設置し、年間で4回、モニターの映像の更新を行った。	このまま継続	コラボ会議の在り方を検討したい。
			観光スポットネットワーク化参加数	振興課	—	0団体	5団体	0団体	0団体	0団体	0団体	0団体	未実施	0.0%	要改善	かじかの湯と道の駅の情報共有を行うために、双方の調整を行ったが、協議の場を設置するに至らなかった。	このまま継続	かじかの湯と道の駅の情報共有をするための調整の場を設けたい。
			クラインガルテン利用棟数	振興課	決算ベース	11棟	17棟	14棟	19棟	20棟	20棟	20棟		117.6%	順調	待機者3名	このまま継続	利用者に長くラウベを利用していただけるよう維持管理に努めたい。
			観光統計入込客数 （かじかの湯・道の駅・二瀬キャンプ場）	振興課	観光地利用者調査	265,900人	265,900人	201,083人	205,800人	210,048人	234,334人	250,776人	(R3)かじかの湯 53,200人 道の駅 146,400人 二瀬キャンプ場 6,200人 (R4)かじかの湯 39,574人 道の駅 163,674人 二瀬キャンプ場 6,800人 (R5)かじかの湯 79,048人 道の駅 150,044人 二瀬キャンプ場5,242人 (R6)かじかの湯 67,796人 道の駅 181,253人 二瀬キャンプ場1,727人	94.3%	要改善	源泉ポンプの故障によりかじかの湯が約2月休業となった。 コロナの影響で大幅な減少があったが、近年は増加傾向にある。	このまま継続	休業等により入込客数が急激に減少しないよう施設の維持管理に努めたい。
			新規観光スポット	振興課	コラボ会議	0箇所	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所		未達成	要改善	新たな観光スポットの創出には至らなかった。	このまま継続	新規観光スポットは、人口減少や高齢化を踏まえると非常に厳しい指標である。
														0.0%				
	4-2 農業	(1)担い手と新規就農者の確保 (2)就農業の支援 (3)生活基盤の整備・充実	新規就農者数	振興課	実績ベース	0人	5人	0人	3人	3人	3人	5人	(R3)信州アトム現業職員2名 (R3)新規就農1名（新野） (R4)新規就農0名 (R5)新規就農0名 (R6)新規就農2名（富草）	100.0%	順調	地域おこし協力隊からの新規就農者1名と富草地区で夫婦で新規就農者1名（R6は妻のみ）が誕生した。	このまま継続	令和7年度は富草地区で1名、南信州菓子工房で農場長として1名、合計2名新規就農予定。 前期目標は達成されたが、担い手不足の状況に変化はないため、継続して新規就農者の支援と確保の取組が必要。 関係機関と連携し、引き続き新規就農者の支援と確保を目指す。

P l a n（計画・目標）							D o（実行・実績）						C h e c k（評価・分析）				A c t（改善・維持・向上）		
節		施策の基本方向	KPI（評価指標）	担当課	数値根拠 （年度）	基準値	目標値		実績値				備考・特記事項 （対象年度）	令和6年度達成状況			総括・今後の方向性（後期計画に向けて）		
							2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	達成率		評価	原因・要因	方向性	内 容		
第4節 産業振興 雇用創出	4-2 農業	(1)担い手と新規就農者の確保 (2)就農業の支援 (3)生活基盤の整備・充実	農業法人化数	振興課	実績 ベ-ス	0法人	1法人	1法人	1法人	1法人	1法人	2法人	(R2)あさぎの里 (R4)アサゲプロジェクト	0.0%	順調	令和2年度に新規参入があり目標は達成しており、今後も新規参入する法人が予定されている。	このまま継続	令和2年度参入法人への農地集積が進んでいる。 令和7年度は耕作条件改善事業により整備した農地へ1法人新規参入予定であることや、富草地区で個人農業者から法人化に向けた相談がある。 中山間集落協定や法人等の団体による複数名での農業形態は、町の農業を維持していくうえで重要な役割である。それぞれの課題解決と規模拡大のため、関係機関と連携し支援を行う。	
												200.0%							
			水田経営持続化支援金交付者数	振興課	決算 ベ-ス	130人	130人	244人	231人	213人	209人	223人	(R2)244人 (R3)231人 (R4)213人 (R5)209人	171.5%	概ね順調	米価格の高騰に対応することができた。	このまま継続	就農業の支援に繋がるような支援金の内容や方法の見直しを行いたい。	
			農地流動化促進事業奨励金交付面積 （借地耕作面積）	振興課	決算 ベ-ス	642反歩	650反歩	630反歩	680反歩	731反歩	765反歩	806反歩	(R2)630反歩 (R3)680反歩 (R4)731反歩 (R5)765反歩	124.0%	順調	主に（株）あさぎの里の増加が要因で、前期目標は達成された。 R5実績 41.5反歩 R6実績 68.8反歩 増加 +26.5反歩	このまま継続	高齢化や担い手不足による遊休農地増加を防止、耕作者の効率性確保のため、農業委員及び農地利用最適化推進委員による遊休農地の把握とその利活用、団地単位での集積の取組を進める。	
			年金プラス100万円達成者数	振興課	実績 ベ-ス	24人	29人	9人	7人	8人	7人	6人		20.7%	要改善	農家民宿が再開したが、達成者が伸びなかった。	このまま継続	高齢化の影響により、農家民宿の受入農家が減少している。 農業体験の受入等も検討していきたい。	
			農家民泊・農業体験受入件数	振興課	実績 ベ-ス	17件	19件	0件	0件	0件	74件	62件		326.3%	概ね順調	受入農家の高齢化により受入件数が昨年度より減少した。	このまま継続	受入農家が事業を継続できるよう協力していきたい。	
			クラインガルテン利用企業・営農法人数	振興課	実績 ベ-ス	0団体	1団体 （達成率）	1団体	3団体	3団体	2団体	2団体	(R2)あさぎの里 (R3)長野市、大阪府の企業	達成 200.0%	概ね順調	昨年度を維持している。	このまま継続	空きラウベが無いため、現状を維持できるよう維持管理に努めたい。	
			ふるさとあなん寄附金額（農業支援）	振興課	決算 ベ-ス									82.6%	概ね順調	経費の見直し、寄付金額の見直しを行った。 コメ価格高騰により早期に規定量に達した。	このまま継続	コメ価格の動向に注意を払いながら寄付額の設定や規定量の確保等を行い適正な事業を行いたい。	
						161,800,000円	165,000,000円	162,500,000円	141,620,000円	120,395,100円	107,135,000円	136,330,000円	（参考） 町内米生産量 8,000俵 内 返礼品 2,400俵 内 町内施設使用 500俵						
			4-3 林業	(1)森林の適正な管理の推進 (2)林業の担い手確保の推進	林業従事者数	振興課→建設環境課	各事業所聞取	31人	30人 （減少率3%）	30人	33人	35人	33人	33人		達成 -6.5%	順調	目標値を上回る結果で推移している。	このまま継続
経営管理権集積計画数	振興課→建設環境課	当初予算 実施方針			0	2	0	0	0	0	0		0.0%	要改善	森林環境譲与税を活用した森林整備は町から直接委託しない方針となったため、町で経営管理集積計画は立てていない。	削除	検討した結果、経営管理集積計画は立てない方針となった。		
森林環境譲与税を活用した森林整備及び景観整備実施箇所数	振興課→建設環境課	当初予算 実施方針			0箇所	4箇所	0箇所	0箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	令和5年度着手を目標に実施	100.0%	順調	ライフラインの維持を目的として実施。	このまま継続	引き続き、森林譲与税を活用した森林整備及び景観整備事業を実施していく。	
里山整備利用地域数	振興課→建設環境課	1年＝1団体の登録			0団体	4団体	0団体	1団体	1団体	0団体	1団体	新野：1団体（川尻）	25.0%	要改善	制度の認知不足と、所有者の山林に対する関心が薄れている。	内容を改めて継続 （向上・改善）	制度の周知を図ると共に、所有者の山林に対する関心の向上に努める。		
4-4 商業・工業	(1)担い手と新規就労者の確保 (2)既存企業や商店の支援 (3)他分野連携による新たな産業と操業方法の模索	補助金交付件数 （就労祝い金、かえっておいなよ交付人数）	振興課	決算 ベ-ス	6件	6件	8件	7件	7件	4件	5件	(R2)就労祝い金 8件 (R3)就労祝い金 5件 かえっておいなよ 2件 (R4)就労祝い金 6件 かえっておいなよ 1件 (R5)就労祝い金 2件 かえっておいなよ 2件	83.3%	要改善	商品券事業の実施により町内事業者への支援を図っているが、担い手や地元就職者の確保は少ない。	このまま継続	引き続き、企業、広報紙で周知を図りたい。		
		阿南高校生の職場体験への参加者数	振興課	実績 ベ-ス	4人	5人	0人	0人	0人	36人	21人		420.0%	順調	阿南高等学校2年生を対象に町内企業見学を行った。 阿南高等学校から2名が町内企業に就職した。	このまま継続	阿南高校と連携し、1人でも多く地元就職してもらえるよう、事業を継続したい。		
		町商工会参加企業数	振興課	商工特別定額給付金	174団体	174団体	149団体	148団体	145団体	125団体	123団体		70.7%	要改善	第9弾商品券事業を行い、町内事業者への支援を図ったが、企業数は現状維持となった。	このまま継続	商工会と連携を密にし、情報収集に努めたい。		
		空き家等活用起案件数	振興課	実績 ベ-ス	0件	1件 （達成率）	0件	0件	1件	0件	1件	(R4)1件 新野地区	達成 100.0%	順調	R4年度に1件、起業の実績があった。	このまま継続	商工会と連携を密にし、情報収集に努めたい。		

P l a n（計画・目標）								D o（実行・実績）					C h e c k（評価・分析）				A c t（改善・維持・向上）		
節		施策の基本方向	KPI（評価指標）	担当課	数値根拠 （年度）	基準値	目標値	実績値					備考・特記事項 （対象年度）	令和6年度達成状況		総括・今後の方向性（後期計画に向けて）			
								2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		達成率	評価	原因・要因	方向性	内 容	
第5節 環境 防災 安全	5-1 自然	(1)ごみ分別を通じた排出量の減量化 (2)荒地などの整備	燃やすごみの収集量	建設 環境課	南部総合事務組合統計表	435t	384t	497t	507t	500t	488t	460t		-49.0%	要改善	製品プラスチックの収集を開始したことにより、前年比でみれば大きく改善しているが、目標値を達成することは出来なかった。	内容を改めて継続 （向上・改善）	人口の減少も考慮した目標値としていたが、想定より燃やすごみ排出量の減少は、困難であった。 目標を改めて今後もごみの減量に取り組んでいく。	
			景観整備の実施件数	建設 環境課	整備実績	24件	30件	29件	44件	11件	22件	12件		40.0%	要改善	地区からの要望箇所数が減少してきたが、優先される森林整備があったため業者の確保が課題である。	このまま継続	引き続き、事業を継続していく。	
	5-2 水道	(1)水の安定供給 (2)水道運営の見直しと水道事業の周知 (3)防災対策の推進	有収率	建設 環境課	決算統計数値	60.9%	70.0%	67.5%	70.1%	66.8%	62.7%	62.5%		89.3%	要改善	減圧槽や減圧弁等で区切りを作り漏水調査を実施し、漏水箇所の修繕を行ったが、新たな漏水箇所が発生し、有収率の改善には至らなかった。	このまま継続	引き続き、有収率の向上に努める。	
			水道教室の開催数	建設 環境課	実績	2回	4回	2回	1回	2回	4回	3回	①富草小学校 ②大下条小学校	75.0%	概ね順調	R6年度は和合小を除く町内3校から依頼があり、浄水場の見学を行った。	このまま継続	引き続き、水道教室の開催を行う。	
			管路更新計画の作成	建設 環境課	—	0 （未作成）	1 （作成）	作成	作成	作成	作成	作成	R2計画策定済	達成	順調	計画に基づき管路更新工事を実施した。	このまま継続	計画に基づき管路更新工事を実施していく。	
	5-3 下水道	(1)農業集落排水施設の充実 (2)農業集落排水接続率・合併浄化槽普及率の向上	農業集落排水接続率	建設 環境課	生活排水処理状況調査	87.00%	87.50%	88.06%	87.89%	87.93%	84.23%	84.22%	R2～接続費用補助を開始	96.3%	要改善	死亡・廃止等もあり普及率が低下した。	このまま継続	住民が積極的に農集排に加入するよう施策を継続する。	
			合併浄化槽普及率	建設 環境課	生活排水処理状況調査	77.97%	88.72%	75.95%	74.07%	76.53%	78.95%	81.89%		92.3%	概ね順調	設置補助の実施もあり、普及率は改善した。	このまま継続	引き続き、普及率の向上に努める。	
	5-4 エネルギー	(1)地球温暖化対策の実施 (2)新エネルギーの普及	二酸化炭素排出量	建設 環境課	阿南町地球温暖化対策計画と「いいむす21」への取組	3,527t	3,376t	2,019t	1,580t	1,841t	1,782t	2,136	2019.6.20・21各事業所統計（エネルギー排出量調査）	2334.3%	順調	施設が通常営業に戻ってきたこともあり、昨年度より排出量は増加しているものの基準値は達成している。	このまま継続	現在の水準を維持していけるように努める。	
			公共施設のLED化	建設 環境課	財政係調査数	70.0%	100.0%	95.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	順調	対策は完了した。	削除	対策は完了した。	
	5-5 生活 基盤	(1)道路改良工事の推進 (2)橋梁・トンネル・道路施設の点検及び点検結果に基づく修繕 (3)法面及び河川危険箇所の安全対策 (4)住民主体による生産生活基盤整備及び道路景観維持管理の推進	国道151号未改良区間の整備完了	建設 環境課	下工区・中工区延長	残2.3Km	残0.0Km	残1.2Km	残0.5Km	残0.2Km	残0.0Km	残0.0Km	令和5年度完了	完了	順調	新野拡幅工事が完了しており、阿南町内全ての工区が完了し、2車線化が図られた。	削除	整備は完了した。	
			点検判定Ⅲ以上の橋梁の修繕率	建設 環境課	橋梁点検結果	0.0%	100.0%	97.0%	98.0%	99.0%	99.0%	99.0%	橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に点検・修繕を実施	99.0%	概ね順調	対象橋梁については対策工事が完了し、健全な橋になった。	内容を改めて継続 （向上・改善）	法定点検で新たに判定Ⅲが判明した橋梁について、新たに計画を行い実施していく。	
			水路要望箇所の減少	建設 環境課 → 振興課	県営中山間地域総合整備事業箇所	12箇所	0箇所	12箇所	12箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	県営中山間地域総合整備事業により実施	100.0%	概ね順調	川田井水の工事を実施した。	このまま継続	策定した計画により、計画的に工事を実施していく。
			法面危険箇所の減少	建設 環境課	国土強靱化 3ヶ年緊急対策箇所	5箇所	0箇所	3箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所		100.0%	概ね順調	当初計画していた箇所の対策は完了した。	内容を改めて継続 （向上・改善）	地区からの要望やパトロールによって発見した箇所を順次実施していく。
			地元施工実施箇所数の維持	建設 環境課	要望箇所数	30件	30件	41件	24件	15件	7件	1件		未達成	要改善	地域で集まって地元施工することが無くなったことや、高齢化に伴い、年々実施数が減ってきている。 地区では出来ない修繕が増えていることも原因。	このまま継続	公報等で周知し利用してもらうように工夫をする。	
														96.7%	概ね順調				
5-6 防災	(1)住民に対する防災啓発 (2)行政としての防災対応能力の強化 (3)消防団員の確保・育成	BCP（業務継続計画）及び受援計画策定・検証・評価・改定	総務課	—	未策定	策定	策定	策定	策定	策定	策定	策定	令和元年度BCP策定 令和2年度受援計画策定	達成	概ね順調	策定はしているものの改定のための共有を図ることはできなかった。	このまま継続	必要に応じた改定のための共有をより一層図っていく。	
		町職員による出前講座・防災講演会	総務課	2ヶ月に1回程度	6回	20回	9回	7回	6回	9回	8回	(R2)町の防災講座7回、御供地区防災マップづくり2回 (R3)大下条小1回、阿南第一中学校1回、阿南高校1回、区長会4箇所 (R4)阿南一中1回、大下条小1回、富草地区学校安全連絡会、阿南高校2回、早稲田地区防災マップづくり1回 (R5)阿南一中1回、大下条小2回、阿南高校1回、自然の家1回、防災地区懇談会4回 (R6)富草小学校2回、大下条小学校1回、新野小学校2回、一中1回、阿南高校1回、自然の家1回	40.0%	概ね順調	児童向け防災学習を多く開催することができた。	このまま継続	今後も事業を継続していく。		

第6次阿南町総合計画（前期分：R2～R6） 評価表

P l a n（計画・目標）							D o（実行・実績）							C h e c k（評価・分析）			A c t（改善・維持・向上）	
節		施策の基本方向	KPI（評価指標）	担当課	数値根拠 （年度）	基準値	目標値	実績値					備考・特記事項 （対象年度）	令和6年度達成状況			総括・今後の方向性（後期計画に向けて）	
								2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		達成率	評価	原因・要因	方向性	内 容
第5節 環境 防災 安全	5-6 防災		消防団員数 （嘱託を含む）	総務課	—	165人	120人	156人	146人	134人	133人	147人	R3.11 消防団検討委員会設置 (R2)団員113人、嘱託43人 (R3)団員106人、嘱託40人 (R4)団員91人、 嘱託43人 (R5)団員85人、 嘱託43人 (R6)団員77人、 嘱託70人	達成	順調	嘱託員の制度改正により、消防団員数の確保を 行うことができた。	このまま継続	新たな嘱託員制度のもと、現役団員の活動を補 完し、また、現役世代の団員の確保策を進めてい く。 R7より条例定数が変更（全団員150人（正規団 員75人、嘱託員75名））
			防火水槽の更新	総務課	—	0箇所	10箇所	0箇所	0箇所	0箇所	3箇所	3箇所	R8年度予定	10.9%		計画に基づき更新を行っている。	このまま継続	引き続き県営中山間総合整備事業で防火水槽の 更新を進めていく。
	5-7 交通 安全 ・防犯	(1)交通安全意識の普及 啓発	交通指導所の開設	総務課	通年2回	2回	2回	0回	0回	0回	1回	2回		100.0%	概ね順調	交通指導所の実施をすることができた。（春と 秋にそれぞれ1回ずつ）	このまま継続	引き続き、年2回開催していく。
		(2)防犯意識の普及啓発	交通死亡事故0の 日数継続	総務課	約5年間	500日	1,865日	904日	1,269日	139日	505日	870日	R2.9.8 交通死亡事故ゼロ700日を達成 R3.7.5 交通死亡事故ゼロ1000日を達成 R4.11.12交通死亡事故発生	46.6%	概ね順調	R6.10.12に交通死亡事故ゼロ連続700日を達成 した。	このまま継続	引き続き交通指導所の開設や交通安全対策協議 会の開催など、開催を進めていき安全意識の啓発 につなげていきたい。
	第6節 住民対応	(1)職員資質の向上 (2)住民の行政経営への 参加推進	職員研修実施回数	総務課	実施回数	0回	2回	2回	2回	2回	2回	2回		100.0%	概ね順調	不当請求防止責任者講習 気象台による防災講話	このまま継続	時代に沿った必要な研修を実施していく。
			意見箱への投稿数	住民税務 課	—	0件	24件	0件	0件	0件	0件	0件	課内で意見箱の設置やアンケートの集約方法等を 検討	0.0%	要改善	具体的な対応をとれなかった。	削除	住民意見を随時取り入れ、窓口対応等柔軟対応 を行い、行政運営に取り組む。